
 <p>市長 篠原 実</p>	<p>愛媛県</p>  <p>日本一の紙のまち 四国中央市</p>	<p>【データ】令和6年3月31日現在 人口：81,700人 世帯数：38,790世帯 面積：420.09 km² 市の花：ミツマタ 市の木：五葉松 イベント：書道パフォーマンス甲子園</p> <p>【連絡先】 担当：市民部保健推進課 電話：(0896) 28-6054</p>
--	---	--

四国中央市の紹介



当市は愛媛県の東端部に位置し、東は香川県に面し、南東は徳島県、更に南は四国山地を境に高知県と4県が接する地域となります。

高速道路が交差する交通の要衝であり、県都松山市と高松市へは約80キロメートル、高知県までは約60キロメートル、徳島市までは約100キロメートルに位置し、それぞれおよそ1時間程度で訪れることが可能です。大阪市には約300キロメートル、東京都には約800キロメートルの距離にあります。

製紙、紙加工業における生産量は日本屈指であり、パルプ・紙・紙加工製造業の製造品出荷額等からなる紙のまちランキングは18年連続全国一位となっています。

特産品には、様々なメディアで取り上げられている霧の森大福をはじめ水引細工、赤石五葉松、里芋、山の芋（つくね芋）、いりこ、新宮茶、富郷茶など様々なものがあります。

全国的なイベントとして平成20（2008）年度より書道パフォーマンス甲子園が開催されており、毎年、高校生による熱い夏が繰り広げられます。

健康づくり

保健センターを健康づくりの拠点とし、四国中央市健康づくり計画「健康でいこや！四国中央」に基づき、「食生活」「運動」「歯の健康」「たばこ」「こころの健康」「飲酒」の6分野について、具体的な対策を「一人ひとりができること」「地域で助け合うこと」「行政や関係機関（保健・医療・企業等）が支援すること」について取り組んでいます。

以下、保健センターで特色のある事業・重点的に実施している事業を紹介します。

☆ 特色ある事業「紙のまちの子育て応援 乳児紙おむつ支給事業」

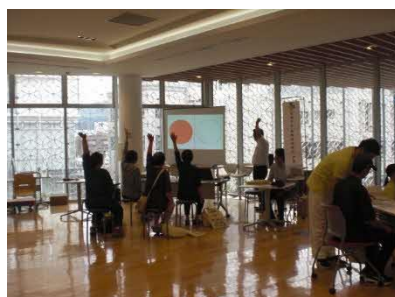
当市は日本一の紙のまちであることから「紙のまちの子育て応援、おむつのまちの子育て支援」として、地元企業2社との官民協働で本事業を実施しています。1歳未満の子どもがいる家庭に紙おむつを無償で提供するもので、対象者に「きみはまちのだから子育て応援券」を40枚配布し、市内の取扱登録店で応援券1枚と対象商品の紙おむつ1袋を引き換える方式としています。



引換券の名称には、「このまちに生まれてくれてありがとう」という祝福の気持ちと「みんなで子育てを応援しています」というメッセージが込められています。

ほかに、母子保健事業では、平成30（2018）年11月に子育て世代包括支援センターを開設し、産後ケア事業、出産・子育て応援事業、子育て支援アプリ情報配信サービスの開始など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の更なる整備を目指しています。健康増進事業では、生活習慣病予防に重点をおいた住民参加型・体験型の健康づくり教室、がん予防と早期発見のための啓発活動、がん検診の推進に取り組んでおり、近年では地域に高血圧の方が多くことに着目し「しこちゅ〜高血圧予防プロジェクト」を立ち上げ対策に力を入れています。精神保健事業では、こころの健康づくりに取り組み、訪問や相談事業、健康教育を通して精神保健予防活動に努めており、特に自殺予防対策として平成30年度に策定した「四国中央市自殺対策計画」に基づいて庁内及び関係機関と連携して自殺対策の推進をはかっています。

毎年10月第1土曜には、健康イベント「健康まつり」を実施しており、地域ぐるみの積極的な市民参加による、健康で心豊かな市民生活の実現を目指しています。



※昨年の健康まつりの状況